

のり養殖通報第 10 報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議 平成 27 年 2 月 6 日発行

[気象]今後も周期的に冬型強まる

- 1 月は一時的に暖かい日が出現しているが、周期的に強い冬型の気圧配置が現れ寒暖差が激しくなっている (図 1)。
- 1 月の木更津観測所における降水量は 104 mm (平年 60 mm) , 平均日照時間は 5.7 時間/日 (平年 6.0 時間) 。周期的にまとまった降雨があり降水量は平年を大きく上回った。
- 気象予報によると、今後も寒暖の変動が激しく春めいた陽気は続かないと予報されている。

[海況]内湾で植物プランクトンやや増加。栄養塩はほぼ問題なし。

- 内房ののり養殖漁場に断続的に波及していた外洋水の波及はやや弱まり、湾口部の水温も 14℃台に低下した。新富津のり漁場における観測値でも水温は一段階降下し現在は 11℃前後で経過している (図 2)。
- 2 月 3~4 日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾 9~10℃台、内房ののり養殖漁場は 10~12℃台。内湾では植物プランクトン (スケルトネマ等の小型珪藻) が増加し透明度が低下してきた。その影響で栄養塩が減少し特にリンの濃度が低下してきた。現時点では顕著な色調低下が生じるレベルではなく、ほぼ問題の無い栄養塩量が含まれているが、今後の植物プランクトンの動向に注意が必要 (右表)。

[今後の見込みと留意点] 生産のピーク形成を

- 昨年から続く全国的な量的不振の中相場も上向き、1 月 31 日に実施された第 7 回共販では多くの等級の単価が上昇していました。良質ノリを増産し、生産のピークを築いて下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は 2 月 18 日頃発行します。

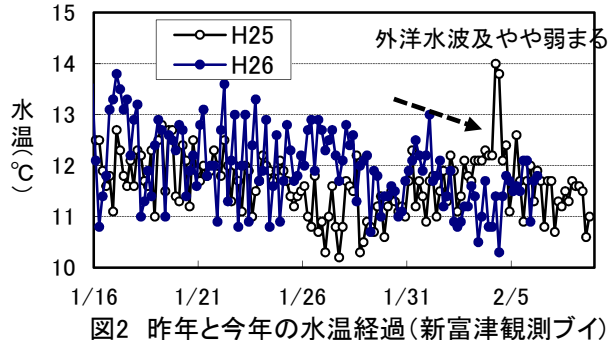
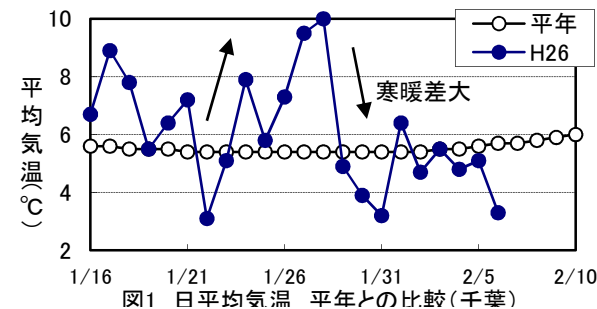


表 1 水質観測結果(内湾 2/3, 内房 2/4)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	9.2	31.9	8.6	3.0	480	17
盤洲 C ブイ	10.0	32.3	8.5	3.0	414	10
盤洲 A ブイ	10.2	32.6	8.6	2.8	345	9
富津ベタ	9.2	32.4	8.4	2.9	402	12
2 海ほ下	10.7	33.0	8.4	5.5	312	17
大貫沖	12.2	33.7	8.3	7.0	241	18
湊沖	11.6	33.5	8.3	8.0	228	15

*溶存無機態窒素 (μg/l) 、 **リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素 100, リン 10